

SUSTAINABILITY REPORT 2025

新川電機株式会社サステナビリティレポート2025



トップメッセージ

サステナビリティ経営の推進

新川電機は、計測・制御のスペシャリストとして、お客様の生産活動の課題を技術商社とメーカーの2つの機能を活用して解決する『技術ソリューション企業』をめざしています。最適な機器選定やシステム設計、ソフトウェア開発、電気・計装工事、現地試運転調整、保守メンテナンスなど、幅広いソリューションを一貫体制で支援しています。デジタル化時代に、データとデータを繋げる独自の製品やサービスを通じて、お客様の製品やサービスの品質向上や生産性向上など、高い価値を創造すること、そして、ウェルビーイング時代に、社員一人ひとりが健康で生き生きと働き続ける職場環境をつくることは、持続可能な社会の実現に繋がると考えています。

当社はこれからも地球を守り、持続可能な社会を実現するために、新しい技術や考え方を取り入れ、地域のお客様、世界のお客様の課題を解決し、環境・社会・経済の持続的発展をめざすサステナビリティ経営を推進してまいります。



新川電機株式会社
代表取締役社長
新川 文登

● 経営戦略とSDGs

当社は、常にお客様の目線で考え、次の3つの方針でソリューションビジネスを展開してまいります。

1. 技術開発力、モノづくり力、アフターサービス力を結集して、お客様に高い価値を提供する。
2. 振動専門メーカーとして、変位センサを開発・製造し、回転機器設備（タービン、コンプレッサ、ポンプ、工作機械など）の安全運転と予知・予防保全最適化のソリューションを提供する。
3. お客様の現場環境の改善と設備の安全、生産効率向上に貢献できる人材を育成する。

2020年度から全社規模でSDGs（持続可能な開発目標）プロジェクトを立ち上げ、社員一人ひとりがSDGsを理解し、以下の4つの目標を優先重要目標として特定し、社員自ら選定した社会課題をテーマに掲げ、職場や職種、役職



に関係なく集まったメンバーでチームをつくり、主体的にSDGs活動に取り組んでいます。持続可能な社会づくりに貢献できる企業をめざしてまいります。

取締役執行役員 SDGs推進室長 田屋 将

● 目次

総 合

新川電機のサステナブル活動 3

社 会

未来の技術者育成 4～6

社内電子図書館 7

人材育成 9

サステナブル調達 13



健 康

健康経営 8



環 境

環境への貢献 11

エコドライブ活動 12



● 編集方針

ガイドライン

本レポートは、新川電機のサステナビリティ、SDGs、ESG（環境、社会、ガバナンス）に対する考え方と2024年度の取り組みなどを開示した年次報告書です。最新の情報については、当社のウェブサイトの中で報告します。

対象組織

新川電機株式会社
新川センサテクノロジー株式会社

対象期間

2024年度
（2024年2月1日から2025年1月31日）
ただし、一部には2023年度以前や2025年度以降の情報も含めて報告しています。

報告サイクル

年次報告として毎年発行

発行日

2025年7月（前回2024年6月）

新川電機のサステナブル活動

社会課題解決に取り組むSDGsプロジェクト

新川電機では、SDGs活動を通じて企業と社員の質の向上と社会に貢献することを全社方針に掲げてSDGsプロジェクトを開始しました。社長をトップとし、立候補した社員による全社組織体制で社会課題の解決に取り組んでいます。

● 目指す姿

当社は、未来の地球と人々の暮らしを守るためにSDGs（持続可能な開発目標）の社会課題を全社員が理解し、技術商社と振動センサメーカーの強みを活かした事業活動を通して、地球環境や地域社会、経済基盤などの社会課題の解決に取り組めます。

そのために、社会課題の解決に貢献できる人材の育成や製品・サービスの開発を進め、お客様や地域社会とのコミュニケーションおよびパートナーシップを積極的に進め、製品・サービスの社会価値向上を目指します。

● 取り組み

全国の社員が職制・職種を超えて集まり、SDGsについて学び、どのように社会に貢献するかを考え、新製品・サービス開発や地域貢献事業、社会貢献人材の育成など様々な新プロジェクト活動に取り組んでいます。

● プロジェクト体制

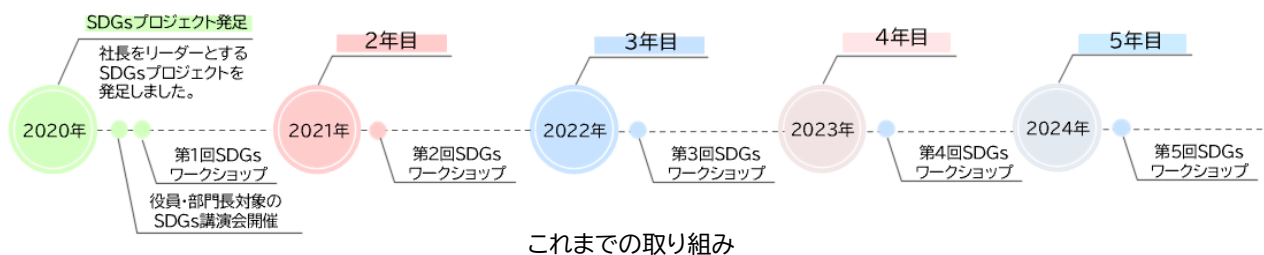
年度ごとにプロジェクトメンバーを新川電機グループ全社から募集します。集まったメンバーは、SDGs推進室の支援のもと、テーマ選定と課題解決に取り組めます。

● SDGsワークショップ開催

SDGsプロジェクトの新任メンバーを対象に、SDGsワークショップを開催しています。SDGsについて学び、様々な社会課題に対し何ができるかアイデア発想を行います。ワークショップで上がったアイデアからメンバーが取り組みたいテーマを選定してチームを作り、1年間のプロジェクト活動に取り組めます。

● サステナビリティレポート発行

プロジェクト活動の成果は、サステナビリティレポートにまとめ、公開しています。



これまでの取り組み

	活動テーマ		活動テーマ
1	振動解析診断システム開発による社会インフラ設備の予知・予兆保全と自動自立運転の実現	12	生産システムの仕様最適化
2	回収熱利用空調機システムによる二酸化炭素排出量低減	13	人材プラットフォーム構築
3	振動遠隔監視システムによる製造設備の運用監視拡大	14	お客様支援体制強化
4	振動診断士養成セミナーによる振動監視技術者育成	15	小・中学生対象ワークショップによる未来の技術者育成
5	製造設備のIoT化による工場の生産性向上	16	社内制度改革による働きやすい職場づくり
6	開発途上国への技術者派遣による産業基盤構築	17	社員の健康づくり(健康経営)
7	環境に配慮した製品づくりによる環境保全	18	採用制度改革による地域貢献
8	振動監視システムによる再生可能エネルギーの有効活用	19	社内eco活動による環境保全
9	IoT化、DX技術導入支援サービス開発	20	社員が学べる電子図書館設立
10	機械設備の問題の可視化	21	中学生対象社会インフラワークショップによる技術者育成
11	スマート保安の実現	22	エコドライブコンテスト

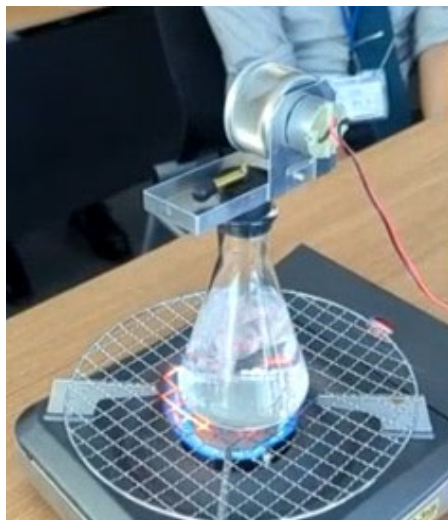
これまで取り組んだ活動テーマ

循環型社会を実現する技術者育成

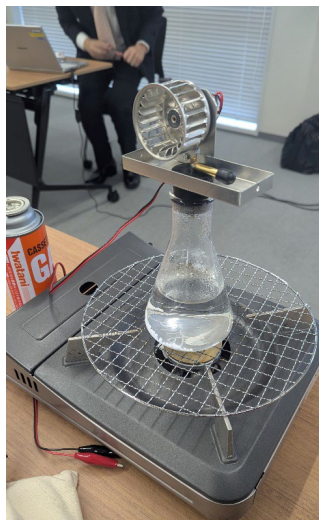
新川電機は、計測・制御技術を活用して、電気や水道などのインフラ(※1)の安定稼働に貢献しています。当社の技術者が講師となり、電気や水がどのように作られるかを体験する中学生向けワークショップ(体験型講習会)を開催し、インフラの重要性を伝え、未来の技術者育成に取り組んでいます。

●ワークショップその1:「水を蒸発させて電気を作ってみよう！」

発電所では、燃料を燃焼させることによって熱を発生させ、その熱で水を加熱して蒸気を発生させます。この蒸気でタービン(原動機)を回転させ、その回転エネルギーを発電機に伝えて電気を作ります。この熱エネルギーから運動エネルギー、そして電気エネルギーへ変換する発電所の仕組みを体験し、循環型社会の実現について考えるワークショップを実施しています。



水蒸気により上部の発電機構が動作



実験装置全体



高校生による実験の様子

●ワークショップその2:「ろ過を通じて水を綺麗にしてみよう！」

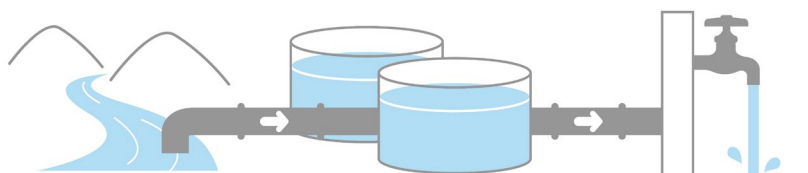
浄水場は、河川や湖などから取水した原水(げんすい)を、安全で飲用可能な水道水にするための施設です。浄水処理には、固形物や濁りを取り除く重要な濾過(ろか)工程があります。この浄水場の濾過工程を体験し、循環型社会の実現について考えるワークショップを実施しています。



お茶をろ過している様子



ろ過した水とお茶の比較



(※1)インフラ: インフラストラクチャーの略で、社会や経済活動を支える基盤となる設備やシステムの総称のこと。具体的には、電気、ガス、水道、道路、鉄道、通信網、公共施設などを指す。

ワークショップによる未来の技術者育成

小・中学生を対象にワークショップ(体験型講習会)を通じてものづくりに興味を持ってもらうことで、未来の技術者育成に貢献します。

現状課題

世界的に少子高齢化が加速しており、技術者の不足により技術伝承や高度な生産性の維持が困難になる可能性があります。

目指す姿

技術者を持続的に確保するため、子供たちがものづくりに触れる機会を増やし、未来の技術者を育成することを目指しています。

取り組み

子供たちがものづくりや技術を体験できるワークショップを開催しています。2022年からは文部科学省が推進する「土曜学習応援団」に登録し、地域の教育団体と広く連携することに取り組んでいます。



文部科学省「土曜学習応援団」特設サイト

2030年目標

ワークショップへの参加者数 2000人(累計)

2025年1月現在の参加者数 943人(累計)

ワークショップのお申込みはこちら

お問合せ・お申込みは、新川電機株式会社SDGs推進室(メールアドレス:VE-SDGs@shinkawa.co.jp)までご連絡ください。

持続可能な活動に向けて

本活動自体も持続的なものにするため、次代の活動を担う人材を育成しています。新入社員を対象としたSDGs研修では、当社のSDGs活動を学び、実際に小・中学生に実施しているプログラムを体験します。

新入社員によるワークショップ体験の様子



●モノづくり体験① ～オリジナルのCDコマを作ってみよう！～

当社の得意分野である振動技術に子供たちが興味を持つきっかけづくりを目指しています。

プログラム

1. 危険予知訓練

子供たちの日常を描いたイラストを使用し、危険につながると思う箇所、その理由を参加者全員で考え、共有し、理解を深めます。

2. CDコマの製作

CDにおもりを配置し、コマの回転時間がどのように変わるか仮説を立て、計測して確認します。最後はシールや絵で飾った自分だけのオリジナルCDコマを作り、コマ回し大会を行います。

参加者の感想

- 危険に対する考え方に触れることができた。
- おもりの有無で回転時間が変わる事が体験できた。
- 楽しみながら技術にふれることができた。



●モノづくり体験② ～電気の専門家に学ぶ！かんたん電気工作でLEDをピカらせよう～

LEDが点滅する回路を作り、モノづくりや技術に子供たちが興味を持つきっかけづくりを目指しています。

プログラム

1. 電気部品の紹介

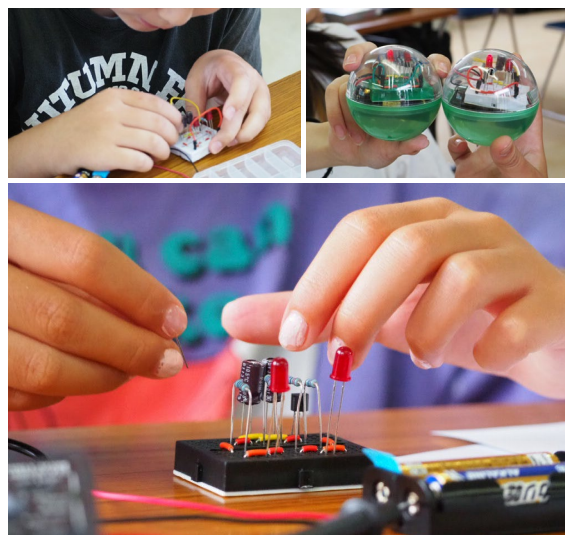
LEDやトランジスタ、コンデンサ、抵抗といった基本的な電気部品をクイズを交えて紹介します。

2. 電気回路の製作

部品を差し込むだけで電気回路が出来るブレッドボードを使い、LEDが点滅する回路を作ります。簡単な作業ながら、電気の流れ、ものづくりのおもしろさや楽しさを感じていただけます。

参加者の感想

- 自分で作った電気回路が動いてうれしかった。
- SDGsについて家族で考える良い機会になった。
- クイズで電気部品の勉強が出来た。



社員と家族のための社内電子図書館開設

社員とその家族が利用できる電子図書館を開設し、自己研鑽や図書を通じて社員が相互に啓発し合い知識を高める職場環境を作り、社員のディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の実現に貢献しています。

●社内電子図書館開設までの取り組み

2022年

新型コロナウイルスの感染拡大やリモートワークの普及などで社員同士の交流機会が減少したことをきっかけに、社員がおすすめの図書を紹介しあい交流をはかる社内ポータルサイト「井戸端図書館」企画を立ち上げました。「井戸端図書館」は、社員同士が気軽に交流できる場となることを目的として名付けました。



2023年

ポータルサイト「井戸端図書館」を開設し、小説、エッセイ、ビジネス書、趣味や生活の為の実用書、児童書など多岐にわたる分野の書籍を社員の目線で紹介する記事の投稿を開始しました。

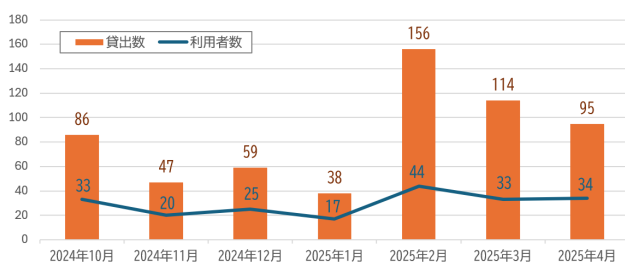
2024年

社員が井戸端図書館で紹介した図書を実際に電子図書として借りて読むことができる社内図書館「井戸端電子図書館」の導入を開始しました。

全17,100作品を読むことが可能で、雑誌の読み放題(国内:120タイトル 国外:5,300タイトル)やオーディオブックも利用できます。



●井戸端電子図書館利用状況



●図書館プロジェクトメンバー



わたしたちのチームは、これまで書籍の紹介を通じて社員同士のコミュニケーションの活発化に取り組んできました。2024年度はこれに加え、社員が利用できる井戸端電子図書館を開設することで、社員や社内各部署からのリクエストに応じて図書館のラインアップに新規図書を追加したり、各種キャンペーンを開催し図書館利用率向上をはかったりと活動の範囲が広がりました。引き続き、社員とその家族の読書習慣に貢献できる図書館運営に取り組んでいきます。

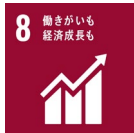
利用者の声

健康のために筋トレ関係書籍を借りています。端末やOSを問わず、アプリをインストールするだけで閲覧が可能で、内部ストレージ圧迫することなく複数冊を読むことが出来るので、利用しています。(関西支社 社員)

これまで紙の本こそ至高と電子の本は敬遠していましたが、出先で時間ができたときの暇つぶしに携帯から気軽に本を読むことができる点や、普段自分では手に取らない本がおすすめされていて気になったときに気軽に借りれるのでいろんな発見があり電子の本をかなりエンjoyしています。(グループ会社 社員)

「本はやっぱり紙派」だった私は、電子図書に苦手意識がありました。読みにくいのでは？頁をめくる楽しさが味わえないのでは？などデメリットばかり考えていましたが、試しに井戸端電子図書館で本を借りて読んでみたところ「手軽」で「読みやすい」ということが分かりました。普段は手に取らないような本も読むことができ、仕事に関連する書籍も多いので、これからも、「紙」「電子」の両方で読書量を今以上に増やしていきます！(科学機器営業部 社員)

働き続けられる職場をつくる健康経営



社員のこころとからだの健康を守る

社員が健康で生き生きと働き続ける職場環境をつくることを健康経営方針とし、社員のこころとからだの健康を守る様々な取り組みを推進しています。

●主な健康経営の取り組み

社員の生活習慣病対策、メンタルヘルス対策、ワークライフバランスの充実に健康投資を行っています。

運動習慣定着化とコミュニケーション活性化

職場対抗ウォーキングチャレンジ大会や野球大会の開催、企業対抗リレーマラソンへの参加など様々な運動機会を活用して、運動習慣の定着化と職場のコミュニケーション活性化に取り組んでいます。



産業医・保健師による面談

2次検診対象者、高ストレス者、メンタル不調者に対し、産業医・保健師による個別面談を実施しています。特定保健指導も就業時間内に受けることが可能です。



食生活改善支援

全拠点で推定野菜摂取量を計測するベジチェック®を実施し、野菜摂取を促進する活動を実施しています。

また、社員による食コラムを社内報に掲載し、野菜をしっかりと摂ることの大切さを周知しています。



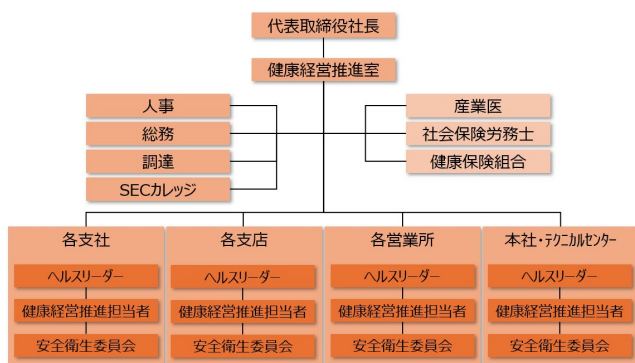
喫煙率低下支援



2024年2月にたばこに関するガイドラインを制定し、就業時間内の完全禁煙などの取り組みを実施しています。

●体制

社長をトップとし、健康経営推進室が事務局となり、全社組織体制で健康経営を推進しています。



●健康経営の成果

2024年から大規模法人部門の健康経営優良法人資格を取得しています。



子育てサポート企業としての取り組みによりくるみ認定を、従業員のスポーツ活動促進の取り組みによりスポーツエールカンパニー認定を取得しています。



すべての社員に希望する学習機会を提供

すべての社員に対して、継続的に業務に必要な知識や技術を学ぶ機会や能力開発の機会を提供し、社会課題の解決に挑戦する人材を育成しています。

● 教育部門SECカレッジによる研修

教育に特化した組織『SECカレッジ』を開設し、職種別（営業・技術・事務など）、階層・年齢別にキャリア形成に繋がる教育の機会を提供しています。SECカレッジでは、階層別、課題別、年齢別、職種別に研修を用意し、すべての社員が希望する講座を受講することができます。また通信教育289コースの受講も可能です。新入社員に対しては新人基本研修、その後、フォローアップ研修などの受講で、ビジネスパーソンとしての成長を支援しています。

		階層別	課題別	職種別	
				営業・事務	技術
階層	経営	新任役員研修			
	管理	上級管理職研修			
		部門経営者実践プログラム			
		新任管理職研修			
	指導	リーダー研修		営業力強化プログラム	
	社員		課題解決研修	中級営業職研修	工具・測定器の取扱い
		中堅社員研修（応用）			電気理論基礎
			選抜英語研修	事務職研修	工業計測基礎
		中堅社員研修（基礎）			ループ回路入門
			トレーナー研修	初級営業職研修	初級SVE
		新人技術研修			工業計測基礎
		新人受入研修			初級計装エンジニア
内定者	新人基本研修			計装入門	

SECカレッジ教育体系

研修

実習

● モデルプラントによる技術研修

広島テクニカルセンターでは計装機器の原理や役割を学ぶことができる実習用モデルプラント設備があり、机上学習やシミュレータのみでは理解が難しい、計装機器の特徴やPID制御のイメージを体感できます。モデルプラントを構成する機器は、実際のプラントでも使用されている本物で、さまざまな動作原理のものを組み合わせて構成されていますので、特徴や注意点なども学習することができます。



●新入社員のキャリアステップ

新入社員は、SECカレッジで基礎教育から職種別研修を受講し、各職場での実践を通じて業務知識を身に付ける育成手法OJT(On-the-Job Training)で、業務遂行に必要な知識・技術を身に付けていきます。また、トレーナー制度によって先輩社員(トレーナー)の丁寧な指導や支援を受け、業務スキルの向上や能力開発をし、業務に自信が持てるようになっていきます。

わたしのキャリアステップ

海外営業

入社前

私は2012年に初めて来日しました。日本の大学では電気電子情報工学部に在籍し、日本人の友達と多く会話をしたり、家電量販店で接客スタッフとして働くことで、日本語力の向上に努めてきました。漢字の読み・書きには苦労しましたが、無事、大学を卒業することができました。

1年目

新しい環境に身を置いて、他に外国人がいない職場で始めたOJTは不安でいっぱいでしたが、先輩に温かく迎えてもらい、仕事・生活において楽しく過ごすことができました。日本のおもてなしの心を感じた経験でした。



ステップアップへの気付き

不明な点があった場合、すぐに先輩に聞くのではなく、自分で解決方法を考え、その答えが合っているのかどうかを先輩にアドバイスを頂いた方が理解しやすいと感じました。

2～4年目

入社して最初にエンジニアリング部門へ配属されました。先輩に同行して現場を訪問したり、技術提案を実施する中で、お客様のニーズに合うような技術力を身に付け、提案力向上に繋げることができました。

その後、海外営業部門に配属され、営業としてお客様と直接話す機会・頻度が増え、お客様とのコミュニケーションが重要と感じると共に、お客様の課題解決のためには社内コミュニケーションも同じくらい大切なことを実感しました。「報・連・相(報告・連絡・相談)」というコミュニケーションを大切に、しっかり社内連携をして、お客様にとって本当に必要なものを提案することを心掛けてきました。

5年目～

今までの知識・経験を生かして、マレーシアに駐在事務所を新開設しました。新しいお客様を開拓し、事業の更なる発展を図ることが私のミッションです。これからの自分の成長と会社の発展を目指して頑張りたいと思います。

STサービス

入社前

学生時代は機械工学科に所属しておりました。社名に“電機”と名がつき電気系の会社というイメージが強かったため、電気と無縁であった私は内心ドキドキでした。

1年目

OJTにて、営業職と技術職を経験しました。トレーナーである先輩からの熱心な指導もあって、仕事の全体像を掴むことができ、同時に仕事への関心も深まりました。先輩方の働く姿に感銘し、いつか自分も先輩のように成長していきたいと思いました。



ここがいいね！

トレーナー制度ではトレーナーとのコミュニケーションツールとして交換日記を活用しています。日々の率直な感想や疑問点などを自由に書き込みます。先輩に直接聞きづらいことも交換日記を通じて相談に乗ってもらいました。

2年目

技術部門に本配属が決まりました。自社製品の振動計などのメンテナンスを扱う職種につき、主に現場で使われている振動計の点検業務に従事しました。机上で製品の勉強をするより実際に自分の目で見て勉強した方が良いという先輩の思いから、現場に何度も同行させてもらいました。最初は現場の忙しい雰囲気に圧倒されていましたが、そんな中でも先輩は私の指導に時間を割いてくれました。先輩のおかげで徐々に実践力を身に付けていくことができました。

3年目～

点検業務の一部を任せられるようになりました。早く一人前になって、先輩方のようにお客様とコミュニケーションをとりながら、仕事を完遂できるようになるべく、日々精進しております！



ここがいいね！

チャレンジ精神を尊重してくれます。こんなことに挑戦してみたい！と思えば、背中を押してくれる環境があります。良い結果が出れば、それが自信に繋がり、より強い自分に成長していけると思っています。

エンジニアリング

入社前

学生時代は情報系の学科にいました。プログラミングなどがメインだったため、今の仕事内容のことはほとんど知識がありませんでした。

1～2年目

知識がない状態でも新入社員教育で基礎を身に付けることができました。その後、営業職に配属され、そこでは営業についての教育を受けました。

3年目

営業職から技術職に異動しました。技術の知識はほぼない状態でした。研修と平行してOJTとして先輩方についていき、エンジニアリング課の仕事を理解していききました。

4年目～

できることが少しずつ増えてきて、担当するエンジニア業務が多くなりました。6年目になると一人でも打合せや現場に立てるようになりました。

環境への貢献



かけがえのない豊かな自然を次世代へ

新川電機は、かけがえのない豊かな自然を次世代へ継承するために、地球に優しい活動を推進し、環境負荷の少ない社会の構築と持続的発展に貢献します。

●環境方針

当社は、長年培ってきた計測・制御・情報・ネットワークの分野のノウハウと技術を通じて、お客様の設備に最適な計測・制御機器の販売からコンサルティング、メンテナンスまで一貫した体制でお客様の生産活動をサポートし、お客様の生産活動の自動化・省力化・環境保全・安全性を提供する企業活動において、かけがえのない地球環境を保護するために、以下の環境方針をもとに環境負荷を低減する活動を、全社を挙げて推進しています。

1 資源を有効に活用します。
グリーン購入の推進と、コピー用紙一枚に至るまで、経営資源を有効に活用します。

2 環境負荷を低減します。
資源・エネルギーの節減、事業活動における環境負荷を低減します。

3 環境関連諸法令を遵守します。
当社の事業活動にかかわる環境関連諸法令を遵守します。

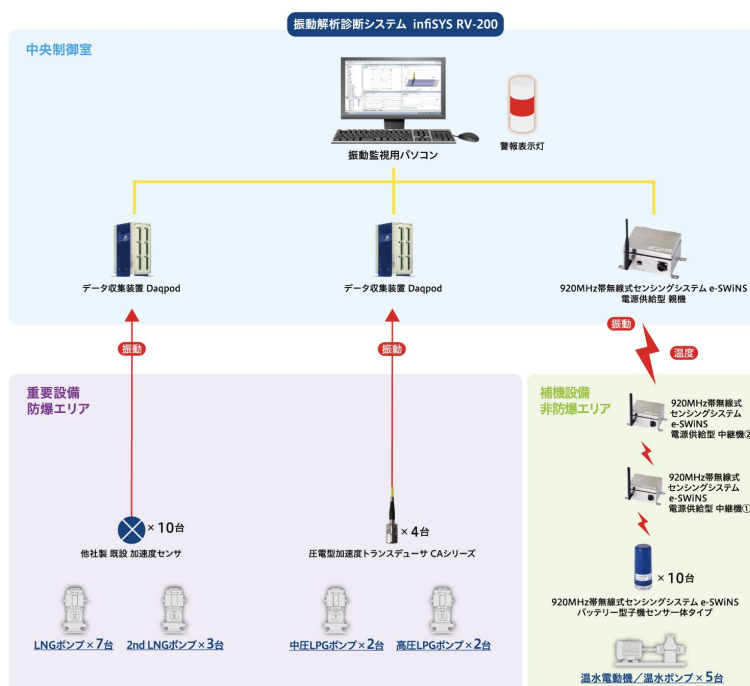
4 環境保全に努めます。
長年培ってきた計測・制御・情報・ネットワークの分野のノウハウと技術を通じて、お客様へ環境に配慮した商品・システム設計の提案・提供に努め、お客様の環境保全活動に貢献します。



●製品・サービスを通じた環境負荷低減

当社は、電気やガス、水道など様々なインフラ分野において、計測・制御技術を使った製品やソリューションサービスを提供することで、環境負荷の低減に貢献し、持続可能な社会の実現に貢献しています。

環境に配慮しながら安定的かつ継続的な供給ができる発電所向け振動解析診断システムや、化石燃料の中で最も環境負荷の小さい天然ガスを届けるLNG/LPGポンプの振動監視システムなどの導入事例があります。また太陽光発電や風力発電などの効率的な運用を支援する計測機器や監視システムを提供することで、クリーンエネルギーの普及にも貢献しています。



振動監視システム

気候変動対策への貢献

13 気候変動に
具体的な対策を



営業車両のエコドライブ活動

CO₂排出量を削減するエコドライブを促進させることで、気候変動対策に貢献しています。自動車の運転技術や心がけを見直すことで、営業車両の燃費向上率やCO₂排出量の削減率などを競い合うエコドライブコンテストを実施しました。

● 主なエコドライブの取り組み

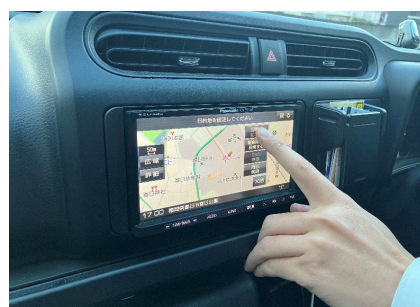
エコドライブ活動では、日々の営業で使用する営業車両で以下の取り組みを実施しています。



不要な荷物を載せない



エアコンの適正利用



目的地の設定



目的地の確認



非運転時のエンジン停止



ふんわりアクセルの実施

● エコドライブコンテスト開催

2024年12月に九州地区の営業担当者を対象にエコドライブコンテストを開催しました。燃費(ガソリン1リットルあたりの走行距離(km))改善効果の大きい営業を表彰し、エコドライブの定着化を図っています。

表彰結果



大竹さん(燃費改善:5.43km/L)

CO₂排出削減量:604kg/年

打合せや納品での待機時間が長かったためスケジュール調整を行い待機時間を減らしました。



山口さん(燃費改善:4.41km/L)

CO₂排出削減量:624kg/年

遠方への移動が多いので、不要な荷物を下ろし、軽量化をおこないました。



火口さん(燃費改善:2.87km/L)

CO₂排出削減量:335kg/年

不要時のエンジン停止を意識することで、燃費改善ができることが分かりました。

サステナブル調達



持続可能なバリューチェーンの実現

新川電機は、バリューチェーン全体でサステナビリティ(持続可能性)を重視した事業活動を発展させていくことが、調達パートナーであるお取引先の皆様との相互繁栄につながると考えています。その実現のため、環境、社会、経済の3つの側面を考慮し、部品や原材料を調達するサステナブル調達を推進しています。長期的な視点での持続可能性を考慮しながら、最適なサプライヤーや仕様、品質、コスト、納期を選定しています。

● 調達基本方針

調達基本方針に基づく調達活動を通じ、調達パートナーとともにサステナブルな社会・事業を発展させていくことを目指しています。

1. 公平かつ公正な取引

お取引先の皆様に公平な機会を提供し、経営状況、製品・サービスの品質・納期・価格・環境・社会・ガバナンスへの取り組み状況により、公正に選定します。

2. パートナーシップの構築

お取引先の皆様とは対等な立場で誠実に取引を行い、ともに発展できる建設的な関係の構築とその維持に努めます。

3. サステナブル調達の実践

製品、サービスの安全性や品質、法令遵守、人権尊重、環境保護などに配慮し調達活動を行います。

● 調達パートナーとの共同の取り組み

近年の社会課題や環境問題の深刻化に伴い、持続可能な未来社会の実現のために、調達パートナーと協同して持続可能な未来社会に向けた取り組みを進めています。

	取り組み	具体策
1	製品の安全性・品質の確保	● 各国、地域の法令等で定める安全基準等を遵守する ● 品質マネジメントシステム(品質保証活動を推進するための管理の仕組み)を構築し、運用する ● 顧客が求める仕様・品質を満足する製品、サービスを提供する
2	法令・社会規範の遵守	● 関連する法令等(独禁法、民法、商法、下請法、外為法、知財法、労働法など)を遵守する ● あらゆる利害関係者との贈収賄、反社会勢力との取引を禁止する ● 不正な資金、または非法な方法により採掘・採取された紛争鉱物(タンタル、スズ、タングステン、金、コバルトなど)を使用した原材料、およびこれらが含有される材料・部品等の採用を排除することについて努力する
3	人権尊重、労働安全衛生への配慮、健康経営の推進	● 強制労働、非人道的な扱い(奴隷を含む)、人身売買、児童労働、人種・国籍・性別・宗教などによる差別、およびハラスメントを禁止する ● 安全で清潔な施設や作業環境の構築など快適な職場環境の実現に配慮をする ● 全従業員に対し法令に定める水準の健康診断を実施し、疾病の予防と早期発見を図り、過重労働による健康障害の防止やメンタルヘルスなどについても十分に配慮する ● 社員の健康増進についての施策を戦略的に実践し、社員の疾病発症リスクの低減、社員の活力向上、生産性の向上、職場環境の充実などについて努力する
4	環境への配慮	● 環境関連諸法令(環境法、化管法、廃掃法、省エネ法、大防法等)を遵守する ● 環境マネジメントシステム(環境活動を推進するための管理の仕組み)を構築し、運用する ● 資源やエネルギーの節減、および環境負荷低減(資源の有効活用)へ向けた活動を推進する ● 関連法令等に基づき製造工程等における化学物質の管理を適正に行う
5	情報セキュリティ	● 機密情報や個人情報等の漏洩を防止するため、情報セキュリティの強化を図る ● 第三者の機密情報や個人情報を不正に取得・利用・開示しない

会社概要

社名	新川電機株式会社
本社所在地	〒730-0037 広島県広島市中区中町8-12 広島グリーンビル7F
創業	1927年4月1日
設立	1951年11月2日
資本金	3億円
売上高	392億円(2024年度)
社員数	702名(2024年4月1日現在)
関連会社	新川センサテクノロジー株式会社 新進電機株式会社 株式会社エス・ワイ・シー SEC of America, Inc. SHINKAWA Electric Asia Pte, Ltd. SHINKAWA Electric of Malaysia Sdn. Bhd. SHINKAWA Electric of Shanghai Co., Ltd. SHINKAWA Electric Vietnam Co., Ltd.
経営理念	私たちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します
品質方針	顧客の立場に立脚した思考と行動
認証取得	品質マネジメントシステム (ISO9001:2015)取得   2025 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門

2025年1月31日現在



新川電機株式会社

広島本社：〒730-0037 広島県広島市中区中町8番12号広島グリーンビル7F

東京本社：〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目3-3新麹町ビル3F

<https://www.shinkawa.co.jp>

